

川越市自殺対策計画 具体的な取組(事業実績)調査票(令和3年度事業実績)

Table with columns for project details (事業No., 担当課名, 事業名), summary (事業概要), and performance metrics (令和元年度実績, 令和2年度実績, 令和3年度実績, 達成度評価). It lists 17 projects including suicide prevention, mental health support, and staff training.

事業No.	担当課名	事業名	事業概要				令和元年度実績					令和2年度実績					令和3年度実績					達成度評価										川越市自殺対策計画						
			目的	対象	内容	主催・共催	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考	施策No.	取組No.	基本施策	主な取組み	具体的事業・取組み	重点施策
18	雇用支援課	労働安全衛生セミナー	働くうえでの労働安全意識の一層の向上、メンタルヘルス及び健康維持の重要性の認識を図る	勤労者、事業主及び安全衛生管理者等	ストレスとの付き合い方やメンタルヘルス等について事例を中心に解説	埼玉県(勤労者福祉課)	開催回数	1	1	働くうえでの労働安全意識の一層の向上、メンタルヘルス及び健康維持の重要性の認識を図ることが出来た	A	継続	開催回数	1	1	働くうえでの労働安全意識の一層の向上、メンタルヘルス及び健康維持の重要性の認識を図ることが出来た	A	継続	開催回数	1	1	働くうえでの労働安全意識の一層の向上、メンタルヘルス及び健康維持の重要性の認識を図ることが出来た	A	継続	A	A	A	A	A			IV	5-(1)	IV. 生きることの促進因子への支援	5.心の健康づくりを推進する	(1)職場におけるメンタルヘルス対策の推進		
19	雇用支援課 男女共同参画課	仕事と家庭の両立支援セミナー	仕事と生活の両立を図るための啓発	事業主及び人事労務担当者、ワークライフバランスに興味のある方	仕事と生活の調和の意識啓発を目的としたセミナーを行う	主催	開催回数	1回	1回	事業者を含め、広くワークライフバランスの周知・啓発ができた。	A	継続	開催回数	1回	新型コロナの影響により事業中止	D	継続	開催回数	1回	1回	再就職を目指す女性を主な対象としたオンラインセミナーを開催した。	A	継続	A	A	D	D	A			IV	5-(1)	IV. 生きることの促進因子への支援	5.心の健康づくりを推進する	(1)職場におけるメンタルヘルス対策の推進			
20	学校管理課	川越市立小中特別支援学校教職員ストレスチェック制度	教職員のストレスへの気づきを促すとともに、職場環境の改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることで、教職員がメンタル不調になることを未然に防ぐ	県費負担教職員 ※臨時任用教職員及び非常勤の教職員については対象要件を満たした者	教職員のストレスへの気づきを促すとともに、職場環境の改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることで、教職員のメンタル不調になることを未然に防ぐための手立てとなった。受検率を向上させた。	主催	受検率	90	61	教職員のメンタル不調への気づきを促すとともに、教職員がメンタル不調になることを未然に防ぐための手立てとなった。受検率を向上させた。	C	継続	受検率	90	78.4	教職員のメンタル不調への気づきを促すとともに、教職員がメンタル不調になることを未然に防ぐための手立てとなった。受検率を向上させた。	B	継続	受検率	90	88.7	教職員のメンタル不調への気づきを促すとともに、教職員がメンタル不調になることを未然に防ぐための手立てとなった。受検率を向上させた。	B	継続	C	C	B	B	B			IV	5-(1)	IV. 生きることの促進因子への支援	5.心の健康づくりを推進する	(1)職場におけるメンタルヘルス対策の推進		
21	高齢者いきがい課	老人福祉事業	高齢者の生きがいの場として、老人クラブの各事業を実施する。	60歳以上の高齢者(老人クラブ加入者)	高齢者の生きがい発揮の場としてシニア将棋、囲碁大会、シニアスポーツ大会、シニアゲートボール大会を委託事業として実施	主催	延べ参加者数	5回	5回	高齢者の生きがいの発揮の場として実施できた。	A	継続	開催回数	8回	—	新型コロナの影響により事業中止	D	継続	開催回数	8回	1回	新型コロナの影響により事業中止	C	継続	A	A	A	D	C			IV	5-(2)	IV. 生きることの促進因子への支援	5.心の健康づくりを推進する	(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備		
22	高齢者いきがい課	介護支援いきいきポイント	高齢者の地域における社会参加を奨励・支援することにより、介護予防を推進する。	65歳以上の川越市介護保険被保険者	65歳以上の市内事業登録者が、市指定の介護関連施設等で、要介護者等にボランティア活動を行った場合にポイントを付与し、そのポイントに応じて現金や商品などを提供する。	主催	事業登録者数	500人	517	高齢者の地域における社会参加を奨励・支援することにより、介護予防の推進を図った。	A	継続	事業登録者数	500	508	障害者関連施設を活動施設に加え、高齢者の地域における社会参加を奨励・支援することにより、介護予防の推進を図った。	A	継続	事業登録者数	500	523	R2年度より、障害者関連施設を活動施設に加え、高齢者の地域における社会参加を奨励・支援することにより、介護予防の推進を図った。	A	継続	A	A	A	A	A			IV	5-(2)	IV. 生きることの促進因子への支援	5.心の健康づくりを推進する	(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備		
23	保健予防課	うつに関する相談	うつ病の方の自殺率が高いことから、自殺予防事業として、うつに関する相談を受ける	市民	相談日(要予約)を設け、精神保健福祉士、保健師が、うつ病の予防及び治療継続や回復への支援を図る	主催	実施回数 延人数	20回 32人	13回 34人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施回数 延人数	13回 34人	12回 24人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施回数 延人数	12回 24人	15回 23人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	A	A	A	A	A			IV	6-(1)	IV. 生きることの促進因子への支援	6.適切な精神保健福祉サービスを受けられるようにする	(1)うつに関する相談の実施		
24	保健予防課	アルコールに関する相談	アルコールが自殺リスクを高めることから、自殺予防事業として、アルコールに関する相談を受ける	市民	相談日(要予約)を設け、アルコール依存症の予防、治療継続や回復への支援を図る	主催	実施回数 延人数	9回 29人	8回 11人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施回数 延人数	8回 11人	6回 16人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施回数 延人数	6回 16人	5回 9人	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	A	A	A	A	B			IV	6-(2)	IV. 生きることの促進因子への支援	6.適切な精神保健福祉サービスを受けられるようにする	(2)うつ病以外の精神科疾患等に対する支援		
25	保健予防課	精神保健福祉専門相談	精神科医師が心の健康に関する相談を受け、問題解決に向けて方向性をアドバイスする	市民・関係機関	精神科医師による心の健康に関する相談(要予約)	主催	実施回数 延人数	11回 23人	10回 21人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施回数 延人数	10回 21人	8回 11人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施回数 延人数	8回 11人	7回 16人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	A	A	A	A	A			IV	6-(2)	IV. 生きることの促進因子への支援	6.適切な精神保健福祉サービスを受けられるようにする	(2)うつ病以外の精神科疾患等に対する支援		
26	保健予防課	精神障害者等社会復帰相談事業(ソーシャルクラブ)	回復途上にある精神障害者がグループ活動を通じて仲間づくりを図るとともに、日常生活や対人関係を改善でき、社会的に自立できるよう支援する	主に統合失調症の方(市民)	回復途上にある精神障害者がグループ活動を通じて仲間づくりを図るとともに、日常生活や対人関係を改善でき、社会的に自立できるよう支援	主催	実施回数 延参加人数	44回 275人	45回 74人	問題解決に向けての支援ができた。	C	終了				E								C	C	C	E			IV	6-(2)	IV. 生きることの促進因子への支援	6.適切な精神保健福祉サービスを受けられるようにする	(2)うつ病以外の精神科疾患等に対する支援				
27	健康管理課	がんサロン	患者、家族、遺族が交流・情報交換することで、精神的な負担や悩みの軽減を図る。	がん患者、家族、遺族	がん患者同士の交流、情報交換等	リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越実行委員会と共催	実施回数	—	4回	患者、家族、遺族の精神的な負担の軽減が図れた。	A	継続	実施回数	—	1回	新型コロナの影響により事業中止	D	継続	実施回数	—	1回	新型コロナの影響により事業規模縮小	C	継続	A	A	D	D	C			IV	6-(3)	IV. 生きることの促進因子への支援	6.適切な精神保健福祉サービスを受けられるようにする	(3)がん患者、難病患者等に対する支援		
28	健康管理課	難病医療講演会	疾患・治療・福祉サービス・介護方法等について学習する場を提供し、患者のQOLの向上、家族の負担軽減を図る。	難病患者、家族	難病の疾患、治療、療養生活に関する講演会	家族会と共催	実施の有無	—	実施	患者のQOLの向上、家族の負担軽減が図れた。	B	継続	実施の有無	—	—	新型コロナの影響により事業中止	D	継続	実施の有無	—	—	新型コロナの影響により事業中止	D	継続	B	B	D	D	D			IV	6-(3)	IV. 生きることの促進因子への支援	6.適切な精神保健福祉サービスを受けられるようにする	(3)がん患者、難病患者等に対する支援		
29	健康管理課	難病患者家族会への支援	同じ病気の患者家族が集まり、交流や情報交換等を通じ、療養生活の充実を図る。	難病患者、家族	難病患者、家族同士の交流、情報交換等	主催	実施回数	—	18回	患者家族が集まり、交流や情報交換を通じ、療養生活の充実が図れた。	B	継続	実施回数	—	—	新型コロナの影響により事業中止	D	継続	実施回数	—	—	新型コロナの影響により事業中止	D	継続	B	B	D	D	D			IV	6-(3)	IV. 生きることの促進因子への支援	6.適切な精神保健福祉サービスを受けられるようにする	(3)がん患者、難病患者等に対する支援		
30	健康管理課	訪問支援(難病患者、家族)	保健師等が関係機関と連携し個別支援を行うことで、難病患者のQOLの向上、家族の介護負担の軽減を図る。	難病患者、家族	訪問により相談対応	主催	訪問件数	—	28件	関係機関と連携し、難病患者のQOLの向上、家族の介護負担の軽減が図れた。	B	継続	訪問件数	—	13件	関係機関と連携し、難病患者のQOLの向上、家族の介護負担の軽減が図れた。	B	継続	訪問件数	—	8件	関係機関と連携し、難病患者のQOLの向上、家族の介護負担の軽減が図れた。	B	継続	B	B	B	B	B			IV	6-(3)	IV. 生きることの促進因子への支援	6.適切な精神保健福祉サービスを受けられるようにする	(3)がん患者、難病患者等に対する支援		
31	健康管理課	電話相談(難病患者、家族)	保健師等が関係機関と連携し個別支援を行うことで、難病患者のQOLの向上、家族の介護負担の軽減を図る。	難病患者、家族	電話により相談対応	主催	相談件数	—	1,389件	関係機関と連携し個別支援を行うことで、難病患者のQOLの向上、家族の介護負担の軽減が図れた。	B	継続	相談件数	—	1,419件	関係機関と連携し個別支援を行うことで、難病患者のQOLの向上、家族の介護負担の軽減が図れた。	B	継続	相談件数	—	1,330件	関係機関と連携し個別支援を行うことで、難病患者のQOLの向上、家族の介護負担の軽減が図れた。	B	継続	B	B	B	B	B			IV	6-(3)	IV. 生きることの促進因子への支援	6.適切な精神保健福祉サービスを受けられるようにする	(3)がん患者、難病患者等に対する支援		
32	広聴課	一般相談	市民の、家庭・社会生活上の心配や問題の相談を受ける。	市民	電話及び来庁者の相談に応じる	主催	相談実施日	240	232	家庭及び社会生活上における心配ごと、悩みごとを抱えた市民に対する支援を図ることができた。	B	継続	相談実施日	243	236	家庭及び社会生活上における心配ごと、悩みごとを抱えた市民に対する支援を図ることができた。	B	継続	相談実施日	204	201	家庭及び社会生活上における心配ごと、悩みごとを抱えた市民に対する支援を図ることができた。	B	継続	B	B	B	B	B			IV	7-(1)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信		
33	広聴課	消費生活センター	消費者と事業者間のトラブルや、サラ金・クレジットなどの借金問題の解決のため	市民	悪質商法などの消費者と事業者間のトラブルの相談や、サラ金・クレジットなどの借金相談	主催	相談実施日	240	240	消費者トラブルや消費生活に関する相談に応じ、助言・斡旋を行うことができた。	A	継続	相談実施日	243	243	消費者トラブルや消費生活に関する相談に応じ、助言・斡旋を行うことができた。	A	継続	相談実施日	242	242	消費者トラブルや消費生活に関する相談に応じ、助言・斡旋を行うことができた。	A	継続	A	A	A	A	A			IV	7-(1)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信		

事業No.	担当課名	事業名	事業概要				令和元年度実績					令和2年度実績					令和3年度実績					達成度評価										川越市自殺対策計画						
			目的	対象	内容	主催・共催	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考	施策No.	取組No.	基本施策	主な取組み	具体的事業・取組み	重点施策
34	男女共同参画課	女性相談	女性が抱えるさまざまな悩みに応じる相談業務	女性全般	DV・家庭・夫婦関係その他女性の抱えるさまざまな悩みについての相談	主催	相談実施日	240日	240日	女性の抱える悩みに女性相談員が応じることができた。	A	継続	相談実施日	243日	243日	女性の抱える悩みに女性相談員が応じることができた。	A	継続	相談実施日	242日	242日	女性の抱える悩みに女性相談員が応じることができた。	A	継続	A	A	A	A	A	A	A	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信		
35	男女共同参画課	カウンセリングルーム	女性が抱えるさまざまな悩みに応じたカウンセリング業務	市内在住・在勤女性	心の悩み・セクハラ等女性カウンセラーによるカウンセリング	主催	相談実施日	24日	24日	女性の心の悩みにフェミニストカウンセラーが対応することができた。 ※新型コロナウイルスの影響により、4月、5月のカウンセリングは中止	A	継続	相談実施日	20日	20日	女性の心の悩みにフェミニストカウンセラーが対応することができた。	A	継続	相談実施日	12日	12日	女性の心の悩みにフェミニストカウンセラーが対応することができた。 ※令和3年度は、月1回の実施。	A	継続	A	A	A	A	A	A	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
36	こども家庭課	家庭児童相談の実施	家庭における児童に関する様々な問題を解決するため	市民	子育てに関する様々な相談に応じた。	主催	相談延べ件数	—	7,921	子育てに関する様々な相談に応じた。	A	継続	相談延べ件数	—	12,846	子育てに関する様々な相談に応じた。	A	継続	相談延べ件数	—	10,752	子育てに関する様々な相談に応じた。	A	継続	A	A	A	A	A	A	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
37	こども家庭課	土日子育て電話相談室	平日相談できない市民の子どもに関する相談に対応するため	市民	土日9時から16時まで電話で子どもに関する相談に応じる	主催	相談延べ件数	—	108	土、日に窓口を開設し、電話で子どもに関する相談に応じた。	A	継続	相談延べ件数	—	103	土、日に窓口を開設し、電話で子どもに関する相談に応じた。	B	終了	相談延べ件数	—	—	—	E	—	A	A	A	B	E	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
38	保健総務課	医療安全支援センター	医療の当事者への助言・情報提供等を通じ、医療に対する信頼を確保すること	市内の医療に関する相談事等がある患者・市民	市内の医療に關する相談事等に対し、又は相談に応ずるとともに、当該患者等又は当該医療提供施設に対し、必要に応じ、助言・情報提供を行う。	主催	相談延べ件数	—	240	医療に関する相談事等に対し、助言・情報提供を行う。	A	継続	相談延べ件数	—	145	医療に関する相談事等に対し、助言・情報提供を行う。	A	継続	相談延べ件数	—	150	医療に関する相談事等に対し、助言・情報提供を行う。	A	継続	A	A	A	A	A	A	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
39	保健予防課	精神保健福祉相談訪問事業	家庭訪問により、精神保健福祉に関する問題を解決するための方向性をアドバイスする	市民	精神保健福祉士、保健師が必要に応じ家庭訪問し、問題解決に向けた支援を行う	主催	実人数 延人数	193人 1,170人	184人 1,132人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実人数 延人数	184人 1,132人	212人 1,019人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実人数 延人数	212人 1,019人	305人 782人	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	A	A	A	A	B	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
40	保健予防課	精神保健福祉相談	心の健康に関することや、精神保健福祉に関する相談を受け、問題解決に向けたアドバイスを行う	市民	精神保健福祉士、保健師が随時、電話及び対面により相談を受け、問題解決に向けた支援を行う	主催	延件数	7,422件	7,392人	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	延件数	7,392件	7,882人	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	延件数	7,882人	5,631人	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	B	B	B	B	B	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
41	保健予防課	エイズ即日検査・相談事業	知識の普及啓発を図り、感染の予防と早期発見に努める	HIV感染の心配のある方	即日検査で結果を説明し、相談支援を行う。	主催	実施回数	9回	9回	結果説明、相談により、感染予防、適切な自己管理ができるよう	A	継続	実施回数	10回	10回	結果説明、相談により、感染予防、適切な自己管理ができるよう	A	継続	実施回数	10回	6回	結果説明、相談により、感染予防、適切な自己管理ができるよう	C	継続	A	A	A	A	C	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
42	雇用支援課	労働相談	勤労者や雇用主の間で生じているさまざまな問題の解決を手助けする	勤労者及び事業主等	社会保険労務士による個別相談を月2回実施	主催	開催回数	48	48	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	開催回数	48	20	問題解決に向けての支援ができた。	C	継続	開催回数	48	48	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	A	A	C	C	A	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
43	雇用支援課	労働法セミナー	勤労者生活の向上に資する法令や諸制度、労働問題に関する知識を深める	勤労者及び事業主等	労働法の基礎知識をわかりやすく解説	埼玉県(川越比企地域振興センター)	開催回数	5	4	勤労者生活の向上に資する法令や諸制度、労働問題に関する知識を深める	B	継続	開催回数	5	3	勤労者生活の向上に資する法令や諸制度、労働問題に関する知識を深める	C	継続	開催回数	5	5	勤労者生活の向上に資する法令や諸制度、労働問題に関する知識を深める	A	継続	B	B	C	C	A	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
44	地域教育支援課	人権啓発フィルム研修会	同和問題を初めとする様々な人権問題について正しく理解するとともに、人権を尊重する教育の重要性について認識を深める。	市内小中学校PTA、川越市子ども会育成会の役員等	人権啓発映画の視聴とその映画に関するテーマについての研修会	主催	利用回数	1	1	児童から虐待される子どもの様子を通過して、改めて子どもの人権を考慮するよい機会	A	継続	利用回数	1	—	準備はできたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止とした	C	継続	開催回数	1	—	準備はできたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止とした	C	継続	A	A	C	C	C	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
45	広報室	市民のしおり発行	市の主な業務・生活情報を紹介し、日々の生活に役立ててもらおう	市民	市の主な業務・生活情報を紹介	(株)サイネックス	掲載回数	1	1	転入者などに、随時配布することで相談業務を含む市の行政情報を	A	継続	掲載回数	1	1	転入者などに、随時配布することで相談業務を含む市の行政情報を	A	継続	掲載回数	1	1	転入者などに、随時配布することで相談業務を含む市の行政情報を	A	継続	A	A	A	A	A	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
46	広報室	広報川越発行	行政情報を、わかりやすい内容で市民にお知らせする。	市民	市の相談業務に関する情報の掲載	主催	掲載回数	12	12	各種相談窓口を周知することができた。	A	継続	掲載回数	12	12	各種相談窓口を周知することができた。	A	継続	掲載回数	12	12	各種相談窓口を周知することができた。	A	継続	A	A	A	A	A	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
47	こども家庭課	ひとり親家庭ガイドの発行	ひとり親支援施策を広く市民に周知広報するため	ひとり親家庭等	ひとり親支援の内容を掲載し、配布する	主催	—	—	1	ひとり親家庭の親等に支援内容など必要な情報を伝えることに努めた。	—	継続	—	—	1	ひとり親家庭の親等に支援内容など必要な情報を伝えることに努めた。	—	継続	—	—	1	ひとり親家庭の親等に支援内容など必要な情報を伝えることに努めた。	—	継続	—	—	—	—	—	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
48	保健医療推進課	すこやかマップ(川越市医療マップ)の配布	身近な「かかりつけ医」の定着・促進を図る	市内転入者	市内医療機関等を地図上に表示したものを作成、配布	主催	発行回数	1	1	重症化する前に適切に対処することができるように、身近に相談できる「かかりつけ医」を持つことの重要性を周知	A	継続	発行回数	1	1	重症化する前に適切に対処することができるように、身近に相談できる「かかりつけ医」を持つことの重要性を周知	A	継続	発行回数	1	1	重症化する前に適切に対処することができるように、身近に相談できる「かかりつけ医」を持つことの重要性を周知	A	継続	A	A	A	A	A	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
49	地域教育支援課	人権教育啓発ビデオの購入と貸出し	人権問題について正しく理解を促すと共に、人権意識の高揚と啓発を図る	市民(希望する団体)	様々な人権問題に関する人権啓発DVDを購入している。地域教育支援課が所有している人権啓発ビデオ・DVD約90	中央図書館 視聴覚ライブラリー	利用回数	150	650	新型コロナウイルスの感染拡大防止により、研修会や講座が中止となり、利用人数が	A	継続	利用人数	150	512	新型コロナウイルスの感染拡大防止により、研修会や講座が中止となり、利用人数が	A	継続	利用人数	150	1,614	新型コロナウイルスの感染拡大防止により、研修会や講座が中止となり、利用人数が	A	継続	A	A	A	A	A	—	IV	7-(1)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(1)地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等の分かりやすい発信			
50	広聴課	多重債務相談	市民の債務問題について、法律家への橋渡しをする。	債務を抱える市民	債務相談窓口を設け、庁内連携を推進して債務者が相談しやすい体制をつくる	主催	実施回数	5	9	相談者が法律家に相談しやすい体制を整えた。	A	継続	実施回数	5	19	相談者が法律家に相談しやすい体制を整えた。	A	継続	実施回数	5	19	相談者が法律家に相談しやすい体制を整えた。	A	継続	A	A	A	A	A	—	IV	7-(2)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(2)多重債務の相談窓口の整備			
51	雇用支援課	しごと相談	就職活動をする上での悩みや疑問に対し、相談を通して就職活動を支援する	求職者	しごと相談員による個別相談を実施	主催	相談件数	550	447	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	相談件数	550	299	問題解決に向けての支援ができた。	C	継続	相談件数	240	242	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	B	B	C	C	B	—	IV	7-(3)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(3)失業者等に対する相談窓口の充実			
52	雇用支援課	就職支援セミナー	就職活動に必要な知識を身につける。	求職者	就職活動の流れ、応募書類作成・面接対策について、年齢などに応じた、再就職等に資するセミナーを開催する。	主催	のべ参加者数	560	612	就職活動に必要な知識を身につけることができた。	A	継続	のべ参加者数	560	486	就職活動に必要な知識を身につけることができた。	B	継続	開催回数	36	38	就職活動に必要な知識を身につけることができた。	A	継続	A	A	B	B	A	—	IV	7-(3)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(3)失業者等に対する相談窓口の充実			
53	雇用支援課	就活支援レクチャー等	就職活動に必要な知識を身につける。	求職者	最近の求職市場を知り、自分を棚卸することで、就職活動を前へ進める。	主催	参加者数	180	120	就職活動に必要な知識を身につけることができた。	A	継続	参加者数	180	—	新型コロナウイルスの影響により事業中止	D	継続	開催回数	3	2	就職活動に必要な知識を身につけることができた。新型コロナウイルスの影響により1回中止	B	継続	A	A	D	D	B	—	IV	7-(3)	IV. 生きるこのことの促進因子への支援	7社会全体の自殺リスクを低下させる	(3)失業者等に対する相談窓口の充実			

事業No.	担当課名	事業名	事業概要				令和元年度実績					令和2年度実績					令和3年度実績					達成度評価										川越市自殺対策計画						
			目的	対象	内容	主催・共催	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考	施策No.	取組みNo.	基本施策	主な取組み	具体的事業・取組み	重点施策
54	雇用支援課	パソコン関連セミナー	就職活動中や社会人に対して求められる、社会人基礎力を身に付ける	求職者(学生等を含む)	パソコンスキルなどを身に付ける短期集中講義	主催	のべ参加者数	300	165	パソコンスキルを身に付けることが出来た。	C	継続	のべ参加者数	300	—	新型コロナの影響により事業中止	D	継続	開催回数	4	—	新型コロナの影響により事業中止	D	継続	C	C	D	D	D			IV	7-(3)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(3)失業者等に対する相談窓口の充実		
55	雇用支援課	介護のしごと入門講座	介護の仕事についての内容を知るとともに、介護に対する理解を深めてもらう	介護の仕事に興味のある方	介護保険施設職員による講義及び施設見学等	主催	参加者数	40	9	介護のしごとについての知識を深めることが出来た。	C	継続	参加者数	40	13	介護のしごとについての知識を深めることが出来た。	C	継続	開催回数	2	2	介護のしごとについての知識を深めることが出来た。	A	継続	C	C	C	A			IV	7-(3)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(3)失業者等に対する相談窓口の充実			
56	広聴課	法律相談	市民の、家庭・生活上の問題で、法的解釈が必要な相談を受ける。	市民	来庁者の相談に応じる	主催	実施回数	185	185	法的解釈及び判断を要する問題を抱えた市民に対する支援を図ることができた。	A	継続	実施回数	141	136(新型コロナの影響により事業縮小)	法的解釈及び判断を要する問題を抱えた市民に対する支援を図ることができた。	B	継続	実施回数	165	165	法的解釈及び判断を要する問題を抱えた市民に対する支援を図ることができた。	A	継続	A	A	B	B	A			IV	7-(4)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(4)法的問題解決のための情報提供の充実		
57	保健予防課	ひきこもりに関する相談	ひきこもりの問題を抱える本人・家族の相談を受け、問題解決に向けたアドバイスを行う	市民	相談日(要予約)を設け、ひきこもりで困っている本人・家族に対し、問題解決に向けた支援を行う	主催	実施回数 延べ参加者数	11回 40人	10回 25人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施回数 延べ参加者数	10回 25人	10回 25人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施回数 延べ参加者数	10回 25人	11回 21人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	A	A	A	A			IV	7-(5)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(5)ひきこもりへの支援の充実			
58	保健予防課	青年期ひきこもり親の会	ひきこもりの子供を持つ親たちが、ひきこもりについて理解し、家族の対応を学び、家族同士の意見を交換する中で自助機能を高め問題解決に向けての取組を進める	ひきこもりの相談があった家族	話し合い、講義、個別面接、情報提供	主催	実施回数 延べ参加者数	6回 64家族 72人	5回 46家族 50人	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施回数 延べ参加者数	5回 46家族 50人	0回 0家族 0人	新型コロナウィルスの影響で未実施	D	継続	実施回数 延べ参加者数	5回 46家族 50人	1回 7家族 7人	新型コロナウィルスの影響で、縮小して実施	C	継続	A	A	D	D	C			IV	7-(5)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(5)ひきこもりへの支援の充実		
59	保健予防課	ひきこもり公開講座	ひきこもりに関する知識の普及啓発	市民	講演会	主催	実施回数 延べ参加者数	1回 36人	—	コロナ禍のため実施できず	D	継続	実施回数 延べ参加者数	1回 36人	—	新型コロナウィルスの拡大の影響で未実施	D	継続	実施回数 延べ参加者数	1回 36人	—	新型コロナウィルスの影響で未実施	D	継続	D	D	D	D			IV	7-(5)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(5)ひきこもりへの支援の充実			
60	男女共同参画課	DV防止ネットワーク会議の設置	DV関係機関との連携を図る	市役所内外関係機関	DV防止・被害者保護に関する協議・支援のための連携を図る	主催	会議開催回数	1回	1回	庁内外の関係機関と情報交換し、連携を深めることができた。	A	継続	会議開催回数	1回	0回	新型コロナの影響により、会議は中止し、資料の送付のみとした。	D	継続	会議開催回数	1回	0回	新型コロナの影響により、会議は中止し、資料の送付のみとした。	D	継続	A	A	D	D	D			IV	7-(6)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(6)児童・高齢・障害者の虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援の充実		
61	男女共同参画課	DV防止庁内連携会議の設置	DV防止と被害者の自立支援のための庁内連携を図る	市役所内関係各課	DV被害者支援に係わる各課の協力体制・連携について協議	主催	会議開催回数	1回	1回	庁内関係課とDV被害者支援に関する協議・共有することができた。	A	継続	会議開催回数	1回	1回	庁内関係課とDV被害者支援に関する協議・共有することができた。 ※書面会議	A	継続	会議開催回数	1回	1回	庁内関係課とDV被害者支援に関する協議・共有することができた。 ※書面会議	A	継続	A	A	A	A			IV	7-(6)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(6)児童・高齢・障害者の虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援の充実			
62	男女共同参画課	市ホームページ掲載・リーフレット配布	DV防止のための啓発	一般市民	DV等相談機関の情報提供、啓発	主催	随時	随時	随時	情報誌に加え、ホームページ上でDV防止のための意識啓発を実施した。	A	継続	随時	随時	随時	情報誌に加え、ホームページ上でDV防止のための意識啓発を実施した。 ※情報誌は、号外2回を追加して発行した。	A	継続	随時	随時	随時	情報誌に加え、ホームページ上でDV防止のための意識啓発を実施した。 また、若年層向けに啓発リーフレットを作成・配布した。	A	継続	A	A	A	A	A			IV	7-(6)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(6)児童・高齢・障害者の虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援の充実		
63	障害者福祉課	相談支援事業	虐待防止やその早期発見、権利擁護	障害者(本人・家族等)・障害者関係機関等	障害者等からの相談に応じ、情報提供・助言・サービス利用支援等の必要な支援を行う	主催	延べ相談件数	—	7,607	障害者等の自立に向けての必要な支援の提供により障害者等の自立した生活の助長を図った。	A	継続	延べ相談件数	—	8,048	障害者等の自立に向けての必要な支援の提供により障害者等の自立した生活の助長を図った。	A	継続	延べ相談件数	—	11,780	障害者等の自立に向けての必要な支援の提供により障害者等の自立した生活の助長を図った。	A	継続	A	A	A	A	A			IV	7-(6)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(6)児童・高齢・障害者の虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援の充実		
64	障害者福祉課	障害者虐待防止センター	虐待防止やその早期発見、権利擁護	障害者(本人・家族等)・障害者関係機関等	虐待に関する通報、届出、相談等の窓口として助言や指導を行い、障害者の権利擁護、虐待の早期発見、防止に取り組む	主催	延べ相談・通報・対応件数	—	80	虐待に係る諸問題について、早期発見、介入による支援を図っていく。	A	継続	延べ相談・通報・対応件数	—	52	虐待に係る諸問題について、早期発見、介入による支援を図っていく。	A	継続	延べ相談・通報・対応件数	—	73	虐待に係る諸問題について、早期発見、介入による支援を図っていく。	A	継続	A	A	A	A			IV	7-(6)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(6)児童・高齢・障害者の虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援の充実			
65	地域包括ケア推進	地域包括支援センター	高齢者虐待の防止、被害者の保護及び養護者に対する適切な支援を行うとともに、認知症その他の理由により判断能力が低下しているなど、相談を要する状態にある高齢者の早期発見、防止	高齢者、家族、関係機関等	高齢者虐待の防止、高齢者の権利擁護を図るため、関係機関等の連絡調整、連携強化を行う。	主催	—	—	—	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	—	—	—	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	—	—	—	問題解決に向けての支援ができた。	B	継続	B	B	B	B	B			IV	7-(6)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(6)児童・高齢・障害者の虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援の充実		
66	地域包括ケア推進	要介護高齢者等支援ネットワーク会議	高齢者虐待の防止、被害者の保護及び養護者に対する適切な支援を行うとともに、認知症その他の理由により判断能力が低下しているなど、相談を要する状態にある高齢者の早期発見、防止	関係機関等	関係機関等との連絡調整及び連携強化により、高齢者虐待等の課題や支援方法の共有を行った。	主催	—	—	4	関係機関等との連絡調整及び連携強化により、高齢者虐待等の課題や支援方法の共有を行った。	B	継続	—	—	2(新型コロナの影響により事業縮小)	関係機関等との連絡調整及び連携強化により、高齢者虐待等の課題や支援方法の共有を行った。	B	継続	—	—	2(新型コロナの影響により事業縮小)	関係機関等との連絡調整及び連携強化により、高齢者虐待等の課題や支援方法の共有を行った。	B	継続	B	B	B	B			IV	7-(6)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(6)児童・高齢・障害者の虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援の充実			
67	子ども家庭課	児童虐待防止SOSセンターの実施	児童虐待の早期発見、子育て相談に対応するため	市民	平日8時30分から18時15分まで、フリーダイヤルで相談に応じる	主催	通告・相談件数	—	505	児童虐待や子育ての相談に応じた。	A	継続	通告・相談件数	—	564	児童虐待や子育ての相談に応じた。	A	継続	通告・相談件数	—	580	児童虐待や子育ての相談に応じた。	A	継続	A	A	A	A			IV	7-(6)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(6)児童・高齢・障害者の虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援の充実			
68	生活福祉課	生活保護相談業務	生活に困窮する者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低生活を保障するとともにその自立を助長する	生活困窮者	相談に来た者への、生活保護制度の説明、生活保護申請の受付及び活用可能なその他社会資源の紹介	主催	—	—	—	相談対応及び生活保護開始	—	継続	—	—	—	相談対応及び生活保護開始	—	継続	—	—	—	相談対応を行い、要保護者には生活保護の開始を行う等、適切な支援を実施した。	—	継続	—	—	—	—			IV	7-(7)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(7)生活困窮者への支援の充実			
69	生活福祉課	生活困窮者自立相談支援業務	生活困窮者の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施する。	現に経済的に困窮し、最低限の生活を維持することができなくなる恐れのある者	相談者の状況を把握し、包括的に相談を進め、他の機関へつなぐことや、必要に応じて同行訪問等を行う。また、自立支援計画を作成し、自立に向けた支援を実施した。	主催	—	—	—	生活困窮者の複合的な問題への支援計画を作成し、自立へ向けた支援を実施した。	—	継続	—	—	—	生活困窮者の複合的な問題への支援計画を作成し、自立へ向けた支援を実施した。	—	継続	—	—	—	生活困窮者の複合的な問題への支援計画を作成し、自立へ向けた支援を実施した。	—	継続	—	—	—			IV	7-(7)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(7)生活困窮者への支援の充実				
70	子ども家庭課	ひとり親家庭相談の実施	ひとり親家庭の自立を支援するため	ひとり親家庭等	ひとり親家庭の日常生活上の悩みや経済問題について相談に応じる	主催	相談延べ件数	—	4,483	ひとり親家庭の自立を支援するため、幅広い相談に応じた。	A	継続	相談延べ件数	—	5,477	ひとり親家庭の自立を支援するため、幅広い相談に応じた。	A	継続	相談延べ件数	—	5,372	ひとり親家庭の自立を支援するため、幅広い相談に応じた。	A	継続	A	A	A	A			IV	7-(8)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(8)ひとり親家庭に対する相談窓口の充実等			
71	健康づくり支援課	新生児訪問・こんには赤ちゃん訪問	育児不安の解消や子育て情報の提供等により乳児の健全な育成を支援する。	生後4か月までの乳児がいる家庭	訪問による個別相談、EPOSを用いた産後うつ病のスクリーニングを実施	主催	訪問者数	2401	2296	保護者の相談に応じることで、必要な支援につながり不安の軽減が図れた。	A	継続	訪問者数	2386	2266	保護者の相談に応じることで、必要な支援につながり不安の軽減が図れた。	A	継続	訪問者数	2207	2158	保護者の相談に応じることで、必要な支援につながり不安の軽減が図れた。	A	継続	A	A	A	A			IV	7-(9)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(9)母子保健(妊産婦等)への支援を含む)の充実			
72	健康づくり支援課	乳幼児相談	育児不安の解消と乳児が健康に育つことを援助する。	生後2か月～就学前の乳児	個別相談、身長・体重測定	主催	訪問者数	30回 2,200人	27回 12,49人	保護者の相談に応じることで、必要な支援につながり不安の軽減が図れた。	A	継続	参加者数	30回 2,200人	24回 310人	保護者の相談に応じることで、必要な支援につながり不安の軽減が図れた。	B	継続	参加者数	30回 2,200人	43回 364人	保護者の相談に応じることで、必要な支援につながり不安の軽減が図れた。	C	継続	A	A	B	B	C			IV	7-(9)	IV. 生きることの促進因子への支援	7.社会全体の自殺リスクを低下させる	(9)母子保健(妊産婦等)への支援を含む)の充実		

事業No.	担当課名	事業名	事業概要				令和元年度実績					令和2年度実績					令和3年度実績					達成度評価										川越市自殺対策計画						
			目的	対象	内容	主催・共催	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考	施策No.	取組No.	基本施策	主な取組み	具体的事業・取組み	重点施策
73	健康づくり支援課	乳幼児健診	乳幼児の疾病異常の早期発見、発育、発達の確認及び育児についての相談・助言を行う。	4か月児 1歳6か月児 3歳児	乳幼児を対象に、身体発育・精神発達の両面から健診を行い、子どもの健全育成を図るとともに、保護者の育児不安の解消を図る。	主催	受診率	4健96% 1.6健97% 3健95%	4健95.9% 1.6健96.6% 3健93.7%	乳幼児の疾病・発育・発達等の健康状態を把握し、支援の必要な保護者へ保健指導を行うとともに、育児不安の解消を図る。	A	継続	受診率	4健96% 1.6健97% 3健95%	4健90.8% 1.6健94.5% 3健93.9%	乳幼児の疾病・発育・発達等の健康状態を把握し、支援の必要な保護者へ保健指導を行うとともに、育児不安の解消を図る。	A	継続	受診率	4健96% 1.6健97% 3健95%	4健96.4% 1.6健94.5% 3健94.2%	乳幼児の疾病・発育・発達等の健康状態を把握し、支援の必要な保護者へ保健指導を行うとともに、育児不安の解消を図る。	A	継続	A	A	A	A	A	A	IV	7-(9)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(9) 母子保健(妊産婦等への支援を含む)の充実			
74	男女共同参画課	性的マイノリティへの正しい理解の普及	性的マイノリティへの正しい理解を普及するための啓発	一般市民	講座や情報紙を通じて、性的マイノリティへの理解の促進を図る。	主催	随時	随時	随時	市民向け講座を開催したほか、令和2年度実施の川越市パートナーシップ宣言制度を実施することにより、性的マイノリティへの理解を促進することができた。	A	継続	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	A	継続	A	A	A	A	A	A	IV	7-(10)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(10) 性的マイノリティへの理解の促進			
新規	男女共同参画課	川越市パートナーシップ宣言制度	性的マイノリティへの理解の促進と、同性カップルの生きづらさの軽減を図る。	市民	同性カップルのパートナーシップの宣言に対し、宣言書受領書を交付する。	主催	—	—	14組	ちらしやホームページ等で広く制度を周知し、性的マイノリティへの理解の促進を図ることができた。	A	継続	—	—	4組	ちらしやホームページ等で広く制度を周知し、性的マイノリティへの理解の促進を図ることができた。	A	継続	—	—	4組	ちらしやホームページ等で広く制度を周知し、性的マイノリティへの理解の促進を図ることができた。	A	継続	—	—	—	—	—	—	IV	7-(10)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(10) 性的マイノリティへの理解の促進			
75	福祉推進課	見守りのネットワーク構築	市民の異変の早期発見	市内の事業者	地域住民による見守りに加え、業務上訪問等を行う事業者の協力を得て見守りのネットワークを構築し、住民の異変を早期に察知できる体制を整備する。	主催	協力事業者の登録数	200	197	「ときも見守りネットワーク通信」を発行する等、住民の異変を早期に見守りに発見し、市に通報する体制を更に構築した。	B	継続	協力事業者の登録数	200	206	住民の異変を早期に発見し、市に通報する体制を更に構築した。	A	継続	協力事業者の登録数	200	209	「ときも見守りネットワーク通信」を発行する等、住民の異変を早期に見守りに発見し、市に通報する体制を更に構築した。	A	継続	B	B	A	A	A	IV	7-(11)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(11) 地域における見守り体制の充実				
76	高齢者いきがい課	在宅高齢者配食サービス	高齢者の食生活の改善、栄養の改善及び健康増進を図るとともに、配達時に安否確認をすることで高齢者が安心して生活することを支援する	市内に住所を有する65歳以上の方	自ら食事を調理及び買入ることが困難な一人暮らしの高齢者に、栄養価に配慮した食事を配達し、安否の確認を行う	主催	—	—	4373人 56,767回	自ら食事を用意することが困難な高齢者の食生活の改善、栄養の改善及び健康増進、安否確認を行うことができた。	—	継続	—	—	4,445人 60,112回	自ら食事を用意することが困難な高齢者の食生活の改善、栄養の改善及び健康増進、安否確認を行うことができた。	—	継続	—	—	4,699人 63,694食	自ら食事を用意することが困難な高齢者の食生活の改善、栄養の改善及び健康増進、安否確認を行うことができた。	—	継続	—	—	—	—	—	IV	7-(11)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(11) 地域における見守り体制の充実				
77	高齢者いきがい課	緊急通報システム	慢性疾患に罹患し、かつ体調が不安定なものに対し、救命体制を整えることにより、不安感を和らげる。	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者が、急病、事故等の緊急時に必要情報を受け、消防組合消防本部に救	慢性疾患により常に注意を要する一人暮らし高齢者が、急病、事故等の緊急時に必要情報を受け、消防組合消防本部に救	主催	設置件数(年度末時点)	—	431件	緊急通報装置を貸与することにより、救命体制を整備し、不安感を軽減を図れた。	—	継続	設置件数(年度末時点)	—	425件	緊急通報装置を貸与することにより、救命体制を整備し、不安感を軽減を図れた。	—	継続	設置件数(年度末時点)	—	430件	緊急通報装置を貸与することにより、救命体制を整備し、不安感を軽減を図れた。	—	継続	—	—	—	—	—	IV	7-(11)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(11) 地域における見守り体制の充実				
78	高齢者いきがい課	救急情報キット配布	ひとり暮らしの高齢者世帯等に対し、救急時に必要な情報を保管する救急情報キットを配布することにより、高齢者等が安心して生活できる環境の整備を図る。	65歳以上の世帯(本人の傷病または心身の障害により、自らキットを用意することが困難な方)	ひとり暮らしの高齢者世帯に対し、民生委員を通じて緊急時に必要な情報を保管する救急情報キットを配布	主催	—	—	486件	民生委員が救急情報キットを配布・設置補助を行うことで、日常的な見守り活動を促進を図れた。	—	継続	—	—	675件	民生委員が救急情報キットを配布・設置補助を行うことで、日常的な見守り活動を促進を図れた。	—	継続	—	—	778件	民生委員が救急情報キットを配布・設置補助を行うことで、日常的な見守り活動を促進を図れた。	—	継続	—	—	—	—	—	IV	7-(11)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(11) 地域における見守り体制の充実				
79	保健予防課	交流サロンやボランティアサークルなどの情報提供	交流サロン、ボランティアサークルへの協力	市民	心の病を持つ方とその家族の方が集うサロンやボランティアサークル、家族会などの情報提供を行う	主催	実施の有無	実施	実施	情報提供により支え合う居場所づくりに貢献できた。	B	継続	実施の有無	実施	実施	情報提供により支え合う居場所づくりに貢献できた。	B	継続	実施の有無	実施	実施	情報提供により支え合う居場所づくりに貢献できた。	B	継続	—	—	B	B	B	IV	7-(12)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(12) 居場所づくり				
80	保健予防課	(再掲) 精神保健福祉相談	自殺未遂者への支援	市民	精神保健福祉士、保健師が随時、電話及び対面により相談を受け、問題解決に向けた支援を	主催	実施の有無	実施	実施	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施の有無	実施	実施	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	実施の有無	実施	実施	問題解決に向けての支援ができた。	A	継続	—	—	A	A	A	IV	7-(13)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(13) 自殺未遂者への支援				
81	保健予防課 市民課	死亡に伴う手続きの案内	自死遺族への支援	市民	死亡に伴う手続きの案内に心の相談窓口情報を追加掲載	主催	実施の有無	実施	未実施	—	D	終了	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	IV	7-(14)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(14) 遺された人への支援				
82	保健予防課	自死遺族の分かち合いの会の案内	自死遺族への支援	市民	問い合わせや相談事業で把握した自死遺族への案内	主催	実施の有無	実施	実施	チラシなどで自死遺族の情報提供を実施した。	B	継続	実施の有無	実施	実施	チラシなどで自死遺族の情報提供を実施した。	B	継続	実施の有無	実施	実施	チラシなどで自死遺族の情報提供を実施した。	B	継続	—	—	B	B	B	IV	7-(14)	IV. 生きることの促進因子への支援	7. 社会全体の自殺リスクを低下させる	(14) 遺された人への支援				
83	こども育成課	青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会	青少年やいじめに関する諸問題の審議・検討・情報共有	学識経験者、関係行政機関の職員	協議会の開催	主催	開催回数	2	2	青少年やいじめに関する諸問題につき関係者間で情報共有が図れた。	A	継続	開催回数	2	1	新型コロナウイルスの影響により縮小1回とした。青少年やいじめに関する諸問題につき関係者間で情報共有が図れた。	B	継続	開催回数	2	1	新型コロナウイルスの影響により縮小1回とした。青少年やいじめに関する諸問題につき関係者間で情報共有が図れた。	B	継続	A	A	B	B	B	V	8-(1)	V. 子ども・若者の自殺対策の推進	8. 子ども・若者の自殺対策の推進	(1) いじめを苦にした子どもの自殺の予防				
84	教育センター分室(リバー)	いじめ相談直通電話	児童生徒、保護者及び市民からのいじめに関する相談に応じる	児童生徒、保護者及び市民	電話による相談	主催	相談延べ件数	—	48	児童生徒及び保護者が抱えるいじめや人間関係の問題に係る相談に対して、	—	継続	相談延べ件数	—	12	児童生徒及び保護者が抱えるいじめや人間関係の問題に係る相談に対して、	—	継続	相談延べ件数	—	26	児童生徒及び保護者が抱えるいじめや人間関係の問題に係る相談に対して、随時対応	—	継続	—	—	—	—	—	V	8-(1)	V. 子ども・若者の自殺対策の推進	8. 子ども・若者の自殺対策の推進	(1) いじめを苦にした子どもの自殺の予防				
85	教育センター分室(リバー)	いじめ相談電子窓口	児童生徒、保護者及び市民からのいじめに関する相談にメールで応じる	児童生徒、保護者及び市民	川越市公式ホームページから電子メールで相談	主催	相談延べ件数	—	1	いじめに対する相談について、対応することができた。	—	継続	相談延べ件数	—	—	令和2年度はメールによる相談は寄せられなかった。	—	継続	相談延べ件数	—	2	いじめに関する相談について、対応することができた。	—	継続	—	—	—	—	—	V	8-(1)	V. 子ども・若者の自殺対策の推進	8. 子ども・若者の自殺対策の推進	(1) いじめを苦にした子どもの自殺の予防				
86	教育指導課	川越市いじめ・不登校対策検討委員会	いじめや不登校問題の未然防止、問題解決が図れるよう、対策を検討する。	市立学校教職員	いじめ問題や不登校問題に係る未然防止策を、校種間の連携を通じて検討する。	主催	開催回数	4	4	児童生徒が主体となったいじめ防止のための取組や不登校対応について啓発できた。	A	継続	開催回数	4	3	教職員のいじめ対応、不登校対策の対応の研修ツールを作成し、各学校に積極的に活用することができた。	B	継続	開催回数	4	5	教職員のいじめ対応、不登校対策の対応の校内研修ツールを作成し、各学校に積極的に活用することができた。	A	継続	A	A	B	B	A	V	8-(1)	V. 子ども・若者の自殺対策の推進	8. 子ども・若者の自殺対策の推進	(1) いじめを苦にした子どもの自殺の予防				
87	教育指導課	川越市立中学校・市立高等学校ネットパトロール業務委託	いじめやそれに起因する事件・事故など、児童・生徒の生命及び健康を脅かす事態の発生を未然に防止する。	市立中学校、高等学校に在籍する生徒	市内中・高校生のインターネット上の書き込み等の検索や監視並びにインターネット上の相談窓口の開設による相談活動	主催	対応件数	—	12	インターネット上の書き込みへの対応により、指導の充実が図られた。	A	継続	対応件数	—	1	パトロールで把握できるネット上の書き込みへの対応が、把握できたものは指導に生かすことができた。	C	継続	対応件数	—	90	パトロールで把握できるネット上の書き込みへの対応が、把握できたものは指導に生かすことができた。	A	継続	A	A	C	C	A	V	8-(1)	V. 子ども・若者の自殺対策の推進	8. 子ども・若者の自殺対策の推進	(1) いじめを苦にした子どもの自殺の予防				
88	教育指導課	いじめ及び学校生活についてのアンケート	いじめの早期発見、早期対応を図る。	市立学校児童生徒・保護者	児童・生徒及び保護者に対してアンケートを実施(児童・生徒:7月、12月、保護者:12月)	主催	実施回数	2	2	学校が把握した事項について、該当児童生徒に聞き取りを行い早期に対応することができた。	A	継続	実施回数	2	2	アンケートを通して把握した事項については、積極的に認知したことで、軽微な事案にも早期に対応することができた。	A	継続	実施回数	2	2	アンケートを通して把握した事項については、積極的に認知したことで、軽微な事案にも早期に対応することができた。	A	継続	A	A	A	A	A	V	8-(1)	V. 子ども・若者の自殺対策の推進	8. 子ども・若者の自殺対策の推進	(1) いじめを苦にした子どもの自殺の予防				

事業No.	担当課名	事業名	事業概要				令和元年度実績						令和2年度実績						令和3年度実績						達成度評価										川越市自殺対策計画					
			目的	対象	内容	主催・共催	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	評価指標	目標値	実績回数・人数等	成果	達成度評価	次年度継続	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考	施策No.	取組みNo.	基本施策	主な取組み	具体的事業・取組み	重点施策		
																																							実施の有無	実施回数
89	教育指導課 教育センター分室(リバー)	相談窓口リーフレットの配布	児童・生徒・教職員	リーフレット等の配布によるいじめ予防の啓発といじめや不登校など教育全般に関する相談窓口の周知	主催	-	-	-	リーフレット等の配布によるいじめ予防の啓発といじめや不登校など教育全般に関する相談窓口を周知することができた。	-	継続	-	-	-	リーフレット等の配布によるいじめ予防の啓発といじめや不登校など教育全般に関する相談窓口を周知することができた。	A	継続	-	-	-	リーフレット等の配布によるいじめ予防の啓発といじめや不登校など教育全般に関する相談窓口を周知することができた。	A	継続	-	-	-	A	A							V	8-(1)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(1)いじめを苦にした子どもの自殺の予防	
90	こども育成課	青少年悩み事相談	市内在住、在学、在勤の青少年(おおむね30歳未満)や、その家族	指導員による面接、電話、メールによる個別の相談支援	主催	相談件数	35	40	悩みごとを抱える青少年やその家族へ、助言や支援を行うことが出来た	A	継続	相談件数	35	23	悩みごとを抱える青少年やその家族へ、助言や支援を行うことが出来た	A	継続	相談件数	-	48	悩みごとを抱える青少年やその家族へ、助言や支援を行うことが出来た	A	継続	A	A	A	A	A							V	8-(2)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(2)児童・生徒への支援充実	
91	保健予防課	思春期保健講座	思春期の子どもたちに関わる関係者	性に関する正しい知識や情報を習得する	主催	実施の有無	実施	未実施	-	D	継続	実施の有無	実施	未実施	-	D	継続	実施の有無	-	-	事業見直しによりNo.92と統合	E	終了	D	D	D	D	E							V	8-(2)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(2)児童・生徒への支援充実	
92	保健予防課	性感染症出前講座	中学生・高校生・大学生・教職員・保護者	産婦人科医による性感染症・性に関する正しい知識や情報を習得する	主催	実施回数	22回	14回	性感染症を身近な問題と感じ、相談することの第一歩につながった。	A	継続	実施回数	22回	11回	性感染症を身近な問題と感じ、相談することの第一歩につながった。	A	継続	実施回数	22回	14回	新型コロナウイルスの影響で回数は減らして実施したが、性感染症を身近な問題と感じ、相談することの第一歩につながった。	C	継続	A	A	A	A							V	8-(2)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(2)児童・生徒への支援充実		
93	雇用支援課	高校生労働法出前講座	市内高校卒業予定者(今年度は市内4高校を対象)	社会保険労務士による労働法についての講義	主催	開催回数	4	2	労働法に関する知識を啓発することが出来た。	C	継続	開催回数	4	2	労働法に関する知識を啓発することが出来た。新型コロナウイルスの影響により1回中止。	C	継続	開催回数	4	2	労働法に関する知識を啓発することが出来た。新型コロナウイルスの影響により1回中止。	C	継続	C	C	C	C							V	8-(2)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(2)児童・生徒への支援充実		
94	教育指導課	スクールランチ作戦	学級がうまく機能しない状況や非行問題行動、不登校児童生徒の増加などに悩むかな指導支援を行う。	市立小中学校教職員・児童生徒	主催	のべ配置日数	2800	2,922	一斉授業に参加できない児童生徒にたいして、校内の巡回などにより、教員の生徒指導、学習指導にも相乗効果が	A	終了	-	-	-	-	-	終了	-	-	-	-	終了	A	A	A	-	-							V	8-(2)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(2)児童・生徒への支援充実		
95	教育センター分室(リバー)	教育相談	子どもの教育に関する相談に応じ、問題の解決を図る	川越市内に居住する幼児、児童及び生徒並びにその保護者及び川越市立学校教職員	主催	相談延べ件数	-	4010	不登校や発達に関する相談、就学に関する相談など、多くの相談窓口を開設し、対応してきた。	-	継続	相談延べ件数	-	3048	不登校や不適応に関する相談、就学に関する相談など、多くの相談窓口を開設し、対応してきた。	-	継続	相談延べ件数	-	3,681	不登校や不適応、就学に関する相談等、相談窓口を上げて相談に対応してきた。	-	継続	-	-	-	-							V	8-(2)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(2)児童・生徒への支援充実		
96	教育センター分室(リバー)	スクールソーシャルワーカー配置事業	いじめ、不登校等の課題を抱える児童生徒について、その背景にある生活環境への働きかけ及び改善を図る。	児童生徒、保護者及び教職員	主催	-	-	-	児童生徒が抱える悩みや不安に寄り添い、その背景にある原因の改善に向けて対応してきた。	-	継続	-	-	-	-	-	継続	-	-	-	-	継続	-	-	-	-							V	8-(2)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(2)児童・生徒への支援充実			
97	教育センター分室(リバー)	さわや相談員配置事業	児童生徒、保護者からのいじめ、不登校等の課題に関する相談に応じる。	児童生徒、保護者及び教職員	主催	相談延べ件数	-	14193	児童生徒の悩みを聞き取り、その対処法を具体的に示すなど、支援することができた。	-	継続	相談延べ件数	-	13779	児童生徒、保護者の悩みに寄り添い、相談に応じることができた。	-	継続	相談延べ件数	-	16,145	児童生徒、保護者の悩みや不安を聞き取り、その問題の改善のために支援することができた。	-	継続	-	-	-							V	8-(2)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(2)児童・生徒への支援充実			
98	教育指導課	いのちの授業	授業を通じて、生きていることの素晴らしさ、いのちの尊さ、正しい性知識等について学ぶ。	市立小学校児童	共催	実施校数	10	8	授業後の子ども達の感想から、自他の命を大切に生きていることが多く見られた。	B	継続	実施校数	10	-	新型コロナウイルスの影響により事業中止	D	継続	実施校数	10	6	子供達が授業を通して、出産が命がけであること、自分の命がかけがえないもの	B	継続	B	B	D	D	B							V	8-(3)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(3)いのちの授業の推進	
99	雇用支援課	「働くことに踏み出せない」若者、本人及び保護者セミナー	「働くことに踏み出せない」若者の就職に向けて各々の立場に合わせたセミナーを実施。	本人向け：パソコン基礎講座、職業適性チェックなど 保護者：子どもとの関わり方、背中の押し方など	主催	のべ参加者数	180	84	問題解決に向けての支援が出来た。	C	継続	のべ参加者数	180	7	問題解決に向けての支援が出来た。	C	継続	開催回数	2	3	問題解決に向けた支援が出来た。	B	継続	C	C	C	C	B							V	8-(4)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(4)若者への支援の充実	
100	雇用支援課	「働くことに踏み出せない」若者、本人及び保護者の個別相談	働きたいが踏み出せない若者、本人及び保護者からの相談を受ける。	就職に向けて、各々の立場に合わせたアドバイスを行う。	主催	のべ参加者数	180	59	問題解決に向けての支援が出来た。	C	継続	のべ参加者数	180	8	問題解決に向けての支援が出来た。	C	継続	開催回数	30	34	問題解決に向けた支援が出来た。	A	継続	C	C	C	C	A							V	8-(4)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(4)若者への支援の充実	
101	雇用支援課	各種就職面接会	地元企業と地元での就職を希望する求職者との出会いの場を提供する	求職者(学生、障害者等を含む)	ハローワーク川越管内にある企業と求職者との合同面接会	開催回数	5	5	地元企業と地元での就職を希望する求職者との出会いの場を提供することが出来た。新型コロナウイルスの影響により4回中止	B	継続	開催回数	5	1	地元企業と地元での就職を希望する求職者との出会いの場を提供することが出来た。新型コロナウイルスの影響により4回中止	C	継続	開催回数	5	3	地元企業と地元での就職を希望する求職者との出会いの場を提供することが出来た。新型コロナウイルスの影響により4回中止	C	継続	B	B	C	C	C							V	8-(4)	V・子ども・若者の自殺対策の推進	子ども・若者の自殺対策を推進する	(4)若者への支援の充実	